

# 若者が仕事につけるように支援を、若者に元気を！…「えちご若者元気塾」が開所式

NPO（特定非営利活動）法人「えちご若者元気塾」（藤田健男理事長）の開所式が5日、上越文化会館で行われました。

働きたいと思っはいるが人の中に入っていくのが怖い。知らない人との会話はダメ。人との付き合いに自信が持てない。いま、こうしたことで仕事を持ってないでいる青年が増え続けています。上越地域だけでも2000人にもものぼるそうです。

この「えちご若者元気塾」は、こうした青年たちを視野に入れ、「ニート、引きこもり、フリーター及び就労形態に悩む若者とその両親に対してカウンセリングやボランティア体験、職場見学会などを通して就労に結びつけよう」と平成19年11月から支援活動を行って来ました。そして、昨年12月には、より責任ある活動をとNPO法にもとづいた法人格を取得しています。

理事長の藤田健男さんは頸城区在住で、上野公悦議員の住まいのすぐ近くの人です。開所式

で、「これまで、カウンセリングや就職支援活動を続けてくる中で、14人の若者の雇用を実現することができた」と報告されました。すばらしいことです。

今回の開所式では、子供さん（といっても青年ですが）のひきこもりで苦しい体験をしてこられたAさんが、「子供と長い間真剣に向き合ってきて、いま若者元気塾で少しずつ子供と心が通じ合えるようになってきた」と体験談を話されました。じつに感動的なお話でした。

開所式には日本共産党市議団から上野議員が参加、激励しました。



【市民の暮らしを守るためにも国政の中身を変えましょう】「ルールある経済社会を」「自主・自立の平和外交を」と街頭と室内で訴える樋口、橋爪議員。



## 日本共産党上越市議員団ニュース

No.186 2009年6月14日

連絡先	橋爪 法一	548-3628	(吉川区代石)
	樋口 良子	544-6802	(中門前3)
	上野 公悦	530-2203	(頸城区中柳町)
	平良木哲也	525-9096	(上中田)



6日、信越線、北陸線など並行在来線を守り発展させようと、直江津

駅から妙高高原駅までの「沿線大行進」が、在来線を守る三市連絡会な

ど4団体の主催で行われました。ところどころバスで移動しながら、老若男女70名以上が30キロの沿線を行進。駅周辺や沿線住民に在来線の大切さと守りぬいていくことの大切さを訴えました。

途中、休憩を取った妙高市公民館では地元の方による温かい豚汁とおにぎりがあるまわれ、再び元気よく行進を続けました。

終点妙高高原駅では、長野県内の在来線を守る住民組織のメンバーと合流し、長野駅から駅伝形式で走りぬいてきたランナーたちとともに、県の枠を超えて在来線を守っていくことを確認しました。

翌7日は妙高高原メッセで住民総決起集会が開かれ、200名の参加で地域の足を守っていくことを確認しました。

# 並行在来線を守り、発展させよう

## 4団体が直江津駅から妙高高原駅まで沿線大行進